

学校だより

「磨く」「輝く」「光る」

令和5年7月4日

第8号

佐世保市立愛宕中学校

校 訓： 自主・敬愛・奉仕

学校目標： ふるさを愛し、知性と感性が豊かで活力ある生徒の育成

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

< 6. 29平和集会 >

■佐世保空襲から今年は78年目となります。6月29日（木）の平和集会は校長講話、実行委員会の発表、佐世保史談会会長中島眞澄様による講話という三つの内容で行われました。

■体験や経験がないために見聞きしても実感が伴わないことが多いです。私も父から戦争について話を聞いています。しかし実感が伴っていないと思いました。実感できない代わりに私たちは想像することができます。その想像は正しい知識と理解に基づいたものであることが大切だと思います。

■実行委員会の発表はスライドでまとめられていて、空襲当時のことを知ることができました。時間をかけて取り組んでくれた実行委員の皆さんありがとうございました。

■佐世保史談会会長中島先生の講話は戦争の実体験に基づいており、スライドを見ながらその当時を知ることができました。講話の

後に質問を設けるのですが、この時は質問者がいくつかありました。おかげで内容を更に詳しく知ることができました。

■短い時間ではありましたが、佐世保空襲について学ぶ時間を持つことができてよかったと思います。平和については学び続ける必要があります。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

< 6月30日学校開放日 >

■6月30日（金）は「いのちを見つめる強調月間」最終日、本校における「いのちを見つめる週間（6月26日～30日）」の最終日でもありました。期間中お忙しい中に学校においでいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

■30日（金）の道徳授業は各学級で「命」を題材した授業を行いました。保護者の皆様もたくさん参観していただく中で、生徒たちが「命」について真剣に考え深めることができました。

■その後の学年懇談会では、生活や学習の様子、夏



休みの生活、修学旅行や職場体験、高校オープンスクールなどについて説明をし、確認をさせていただいています。

■最後に「家庭教育講座」についてですが、ファシリテーターを二名お呼びして実施しました。保護者の皆様が子育てについて悩んでいることなどを取り上げ、ファシリテーターを中心に話を進めていくやり方でした。参加した保護者からも好評で良かったです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

< 7月行事予定 >

1日(土) 少年の日
4日(火) 全校朝会(表彰伝達)
6日(木) 生徒総会(5・6校時)
8日(土) 佐世保市少年の主張大会
14日(金) 安全の日、安全点検
16日(日) 家庭の日
17日(月) 海の日
18日(火) 専門部会・専門委員会
20日(木) 大掃除
21日(金) 1学期終業式、県中総体及び県吹奏
楽コンクール激励式
22日(土) 長崎県中学校総合体育大会
~24日(月)
22日(土) ~8月28日(月) 夏季休業日



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

< 表彰伝達 >

■4日(火)の全校朝会において、佐世保市中学校体育大会の表彰伝達を行いました。選手の皆さん改めておめでとう。その勝利に対して祝福を送りたいと思います。選手の皆さんは、愛宕中学校の代表であると同時に、佐世保市の代表であるのです。県大会まで油断せず一途に取り組んでください。

■今、正面玄関のホワイトボードに坂村真民さんの「花」という詩を書いています。

花には 散ったあとの 悲しみはない
ただ一途に咲いた 喜びだけが残るのだ

何事においても一途に取り組んだ結果は様々なものですが、佐世保市中学校体育大会に参加した皆さんが一途に咲いたことに間違いありません。花は何も言いません。しかし黙ってきれいな花を咲かせて、そして散っていき、来年またきれいな花を咲かせようと準備に入るのです。「凡事を徹底し人格を磨く」を今一度実践していきたいものだと思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

< 大雨等の対応 >

■梅雨も終わりに近づきました。先週から雨がたくさん降って、まさに梅雨の時期だと感じ入ります。川の氾濫、土砂災害など校区内の中で危険な個所もあるかと思います。十分注意していただきたいと思います。

■2日(日)は夜分になりましたが、「まなびポケット」にて、メールを配信させていただきました。今後も大雨、台風などの際には、安全のためメールによる保護者連絡をする可能性があります。お手数ですが、その際はご確認をよろしくお願いいたします。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「磨く」「輝く」「光る」
「子供は「希望」である」

「すべては光る」坂村真民
光る 光る すべては光る
光らないものは ひとつとしてない
みずから光らないものは
他から光を受けて 光る